

韓国人原爆犠牲者慰霊祭

～8月5日 広島平和記念公園 慰霊碑前で

広島ユ協から亀井会長らが列席・献花 平和実現を祈る～

在日本大韓民国民団（民団）広島県地方本部主催の第49回韓国人原爆犠牲者慰霊祭が、8月6日の「原爆の日」の前日、5日午前10時から、広島市中区の平和記念公園にある韓国人原爆犠牲者慰霊碑前で厳かに行われました。

慰霊祭では、今年新たに亡くなられた12名の名前を追加した2746名の死没者名簿（過去帳）を奉納した後、全員で黙とう、追悼の辞では民団広島県地方本部・李英俊（イヨンジュン）団長、民団中央本部・呂健二（ヨゴニ）団長、駐広島大韓民国総領事館・金宣杓（キムソンビョ）総領事、韓国原爆被害者協会・李圭烈（イキュョル）会長が追悼の辞を述べ、朝鮮半島の非核化へ期待の声を寄せられました。

続いて弔電披露、民団婦人会広島県地方本部メンバーによる慰霊歌が捧げられ、献花が行われました。この慰霊祭には広島ユ協から、亀井章会長、藤井正一副会長らが出席し、原爆犠牲者の冥福と核兵器のない世界の実現を心から祈念しました。広島に投下された原爆では、韓国人2万数千人の尊い生命も犠牲になったと推測されています。



追悼会

追悼会 亀井会長らは、この後会場を移して開かれた広島総領事館主催の「第73周年 韓国人原爆犠牲者追悼会」にも、国連事務次長兼軍縮担当上級代表・中満泉さんらとともに、各界代表・市民団体の一員として出席し、犠牲者の冥福を心から祈るとともに、平和構築へ連帯強化を誓い合いました。